

**生涯学習フェスタ**  
まなぼう・あそぼう・つたえよう

各種講座やグループなどの学習成果を発表し、幅広い世代の交流と今後の活動に活かすため、生涯学習フェスタを開催します。(入場無料)

日時 12月15日(日) 10時～15時  
会場 市民ふれあいプラザ  
ステージ発表

- ▽ハローキティ ミニステージ
- ▽秋田北鷹高校「家庭クラブ」
- ▽阿仁パーカッションサークル
- ▽コムコム定期講座
- ▽「アコースティックギター教室」
- ▽鷹巣よさこい教室「鳳翔華」など
- ▽七日市公民館「わら細工講座」
- ▽坊沢公民館「そば道場」
- ▽「タッピングタッチ体験」
- ▽にこっと「手作りおもちゃ体験」
- ▽きらフェス実行委員会

「WAROCK」など

展示コーナー  
▽コムコム定期講座「川柳いろは」  
「大人が楽しむ絵本の時間」  
▽高鷹大学写真クラブ など

**合川公民館子育て応援塾「サンドプラストでオリジナルグラス作り」**

日時 12月10日(火) 10時～  
会場 合川公民館  
講師 木村留美子さん  
定員 10人(先着順・要予約)  
参加費 500円  
申込締切 12月6日(金)

**阿仁公民館** 82・2220

日時 12月3月の第1・3土曜日  
13時30分～15時30分  
会場 阿仁公民館  
講師 石田一男さん  
定員 先着10人

**阿仁公民館** 82・2220

和令2年4月から市民ふれあいプラザ及び各公民館に設置している回転機の使用が有料になります。  
一般料金 製版1枚につき30円  
印刷50枚ごとに30円  
※営利使用は、別料金となります。

**「コムコム」休館のお知らせ**  
全館清掃のため、12月26日(木)と27日(金)は全館休館となります。

### 未来・紡ぎ人 18

前回は引き続き、マタギ文化を市内外に伝えていく方を取り上げます。

マタギ文化を今に伝える  
鈴木 英雄さん(阿仁担当)

◇現代の狩猟や祭祀は？  
マタギは根子、比立内、打当といった集落にいましたが昭和50年頃まで、お互いの交流はほとんどありませんでした。現在は阿仁猟友会として山に入ります。打当で狩猟をする時は、ベテラン同士で話し合った上で、役割を決めて打当マタギとしての役割を果たします。打当地区以外の場合、その地区の方法に従います。

山の神に常に感謝し、マタギ神社に参拝してから山に入ります。祭祀も大切で、「授かった」時に儀式(ケボカイ)をして山の神に

魂を返す呪文を唱えます。  
◇昔と変わったことはありますか？  
狩猟の時に意思を伝える場合、笛を吹いていましたが、現代では無線機に変わりました。銃も火縄銃から村田銃、自動銃、ライフル銃へと変わり、目立つ色のジャケットも着用するなど、狩猟用具も大きく様変わりしました。しかし、変わらないものもあります。仲間意識や信頼です。最近2名の若者が仲間に入ってくれました。

山はただの山ではありません。山は神。神の機嫌を損ねないように、狩猟の際に油断は決してしないで。そして、授かったものに感謝をしなければなりません。

昔、マタギは世間と接することが少なく、あまり知られていない存在でした。今後みんながこの文化を発信していきたいと考えています。

北秋田市では「阿仁マタギ」の日本遺産認定を目指しています。阿仁マタギの文化の継承と観光資源として活用していきます。

**地域の歴史継承を担うために**  
～歴史移動講座「菅江真澄の足跡を訪ねて」～

コムコム講座「菅江真澄の足跡を訪ねて」が10月20日と11月12日に行われ、高鷹大学「ふるさと研究クラブ」と一緒に江戸時代の紀行家・菅江真澄の足跡をたどりながら、史跡・自然・景観・民俗慣行について学びました。

10月20日の藤里編では、藤里町教育委員会の職員などによるガイドの後、太良峡や素波里ダムなどを訪れました。

また、11月12日の阿仁編では、打当地区などを巡り、参加者は記録に残る当時の生活や景観に想いを



**「音楽」がもたらすコミュニケーション効果とは**  
～北鹿地区社会教育関係委員等研修会～

11月6日「北鹿地区社会教育関係委員等研修会」が市民ふれあいプラザで開催され、北鹿地区の社会教育や生涯学習に関わる職員・委員等40人が参集しました。

研修では音楽療法士の田口諒也氏(大館市)を講師に「音楽を通じた地域とのつながり」と題し、実際に楽器を用いて、ユニークかつ科学的根拠を交えながらの講話があり、参加者は年齢や言葉の壁を超えて共感を生み出す音楽の力について学んだほか、その後のグループトークで感想を共有するなど「地



**地域の特色を活かした自然体験発表**  
～秋田県「体験の風をおこそう」推進活動～

11月3日「体験活動全県フォーラム」が秋田市で開かれ、北秋田市の「マタギの地恵体験学習」について事例発表を行いました。

「マタギの地恵体験学習」は、集団での野外体験活動によりふるさとの良さを体験し、子どもたちの健やかな成長に繋げることを目的としています。

発表では「マタギ文化」を通し、自然との共生や先人の知恵を学びながら、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心を育み、愛郷心の醸成や命の大切さなど子どもの成長に必要な体験として、市の地域資源や人

